

情報連絡員報告総括表(令和8年7月期)
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食 料 品	醬油・味噌製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・景況感に一部改善が見られるものの、原材料・包装資材・エネルギー価格の高止まりや人件費、物流費の上昇が続いており、依然として厳しい経営環境にある。コスト上昇分を販売価格へ十分に転嫁することが難しく、利益の確保が大きな課題となっている。
	パン製造業	→	→	↗	→	↘	↘	→	→	↘	・一般スーパー等の販売店の売上げ減少。(気温が高い為) ・原材料の値上げがまだまだ続く。 ・経費が上昇しつづけている。
	処理牛乳・乳飲料製造業	↘	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
繊 維 工 業	ニット製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・価格転嫁の動きは見られるが、人件費、エネルギー、副資材、物流費の高騰から経費増のため、収益は悪化状況。 ・物流、染色加工のボトルネックで、生機の出荷制限、加工納期の長期化が発生。
	絹人織織物業	↘	↗	→	↘	↘	↘	→	→	↘	・化合繊維物並びに絹織物の城端産地に関して先月と変わらず。円安による影響が企業業績の悪化に顕著に表れている。城端産地の織物の需要先は国内が主であり、末端の織物需要も鈍く、経費が増大しているにも拘らず売上も低迷しており、収益が悪化している。
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・組合員脱退の影響で受注量が減少し、コロナ禍の借入金返済が、厳しくなっている。

木 材 ・ 木 製 品	一 般 製 材 業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・全国の6月の新設住宅着工戸数は、対前年同月比18.6%増で、3か月連続で前年同月比二桁増と回復傾向になっているが、昨年度の建築基準法改正前の駆け込み需要後の反動減に対する、その反動増が生じ一昨年前の同月の戸数にほぼ戻った。 ・中東情勢に関連した完成の遅延や住宅需要の落ち込みが心配され、石油関連製品の供給不安は、さらなる新設住宅着工や住宅のリフォームの減少に繋がり、それに伴う木材需要の落ち込みが木材産業関係事業者全体を厳しい経営環境にしている。引き続き、中小工務店は、工事中断や着工見送りで、資金繰りへの影響も懸念されている。 ・ロシア材取扱木材関連事業者は、大幅な円安に加え石油関連製品の価格高騰、コンテナ運賃の上昇などで、厳しい経営環境にある。 ・プレカット工場の稼働状況は、一部稼働率が順調な工場がある一方、仕事量の確保に苦心している事業者も多い。 ・スギ木製品の一部に価格上昇がみられるが、素材価格は、県内・全国ともほぼ横ばいで推移している。	
	そ の 他 の 木 製 製 品 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	0	
業 種		項 目	売 上 高	在 庫 数 量	販 売 価 格	取 引 条 件	収 益 状 況	資 金 繰 り	設 備 操 業 度	雇 用 人 員	業 界 の 景 況	
印	刷 印 刷 業		↗	→	→	→	↗	→	→	↘	↘	・7月末、経産省並びに総務省より官公需印刷物の入札・契約について価格転嫁、取引の適正化の為に必要措置(6項目)を講ずること、更にその迅速な対応を促す通知が各都道府県担当部署宛てに発信された。ただ、過去末端までの浸透が薄く、今回は組合員が各部署宛て直に通知文の内容説明を行う予定。
化 学 ・ ゴ ム	医 薬 品 製 造 業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
窯 業 ・ 土 石 製 品	生コンクリート 製 造 業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	・令和8年7月の県全体の出荷数量は、53,564㎡で、前年同月比約98%と前年実績を下回った。 ・地区別では、新川地区が前年同月比76.0%、砺波地区が同97.6%と前年実績を下回ったものの、富山地区が同108.4%、高岡地区が同101.1%と前年を上回った。
	コンクリート製品 製 造 業		↘	→	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	・特になし。
	骨材・石工品等 製 造 業		↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・骨材価格について令和9年度は現行価格のまま(値上げしない)意見もあったが、燃料費、電力費、材料費、設備修繕費、人件費等、骨材生産に係る費用の急激な上昇が続いている。例えば設備の修繕に見積りを取り、金額が提示され高額になっているため迷っている間に、さらに費用が増額することも起きている。諸々の費用の上昇は経験したことがないレベルとなっている。現行のままでは経営が困難となる状況であることから協議の結果、令和9年度骨材価格の値上げをすることを決定し引き続き協議することになっている。骨材需要については堅調な状況が続いている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄造物業	→	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	・中東情勢に絡む、資材の高騰や品薄不安が続いている。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	・長期に渡る地金価格高騰の影響が深刻。
	アルミニウム製品製造業	→	→	↗	→	→	↘	↘	↘	↘	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・団地内企業においては特に変化なし。原料・資材高による収益への影響はあるが、全体的に比較的好調に推移していると見られる。 ・6月の県内雇用情勢が発表され、富山県の求人倍率は1.48倍で先月より増加し、全国4位であった。当団地においても人員不足は続いており、ハローワークに求人を出してもなかなか応募がない状況にある。全国的に製造業での人員不足が顕著で、売り手市場であるがゆえに民間の人材斡旋業では採用につながった場合の成功報酬が高騰しており(以前は年収の25-30%であったものが現在は人材によってはほぼ100%)、中小企業ではなかなか利用できない状況になっている。 ・7月1日から7月7日の全国安全週間期間に、各組合員企業にて安全衛生強化活動を実施した。また、7月17日に、ポルファートとやまにて「富山県産業安全衛生大会」が開催された。
	めっき加工業	↗	→	↗	→	↗	→	↗	→	↗	・取引先からのめっき依頼が増加しており、売上高は増加傾向。販売単価の上昇(値上げ)もあり、収益状況も好転している。

一 般 機 器	金 属 工 作 機 械 製 造 業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・受注状況・・・対前年同月比120.43%。 ・受注状況は、直近増加傾向にあるものの、エネルギー・原材料価格・人件費等増加により、収益状況はさほど変化は見られない。また、海外情勢や通商政策など先行きへの不透明感が残っており、今後も受注動向やコスト上昇の影響を注視する必要がある。
	金 属 加 工 機 械 製 造 業	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↘	→	→	・特になし。
	鋳 鍛 造 金 型 ・ プ レ ス 金 型 製 造 業 製 造 業	↘	↘	→	→	↘	→	↘	→	→	→	・先月迄と比べて、少しずつですが、受注量の増えている企業が多くなって来ています。但し100%迄とは行かず、原材料等の高騰にもより収支面では苦戦しているのが現在の状況です。
電 気 機 器	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 製 造 業	↗	↗	→	→	↗	→	↗	↗	↗	↗	・AIブームの影響で半導体製造装置向けなどの電子部品が増加している。自動車向け部品は車種展開されているものについては受注が増加している。 ・中国のレアアース規制の影響でタングステンの価格が急騰し、コストを圧迫している。
輸 送 機 器	自 動 車 部 分 品 ・ 附 属 品 製 造 業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆 器 製 造 業	↘	→	→	→	→	↘	→	→	↘	→	・特になし。

業種		項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の状況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業		セメント業	→	→	→	→	→	→		→	→	・6月は前月同様天候に恵まれたが、ダム関連工事・震災関連の法面工事等官需関連工事がまだスタートしたばかりで本格稼働しておらず、進捗率は対前年同月比で75.0%と大幅に下回った。しかしながら7月に入り本格稼働となり、前年同月比110.3%と前月の遅れを取り戻した感がある。利賀ダム工事で一部が袋セメント→バラセメントへ変更となり減少した。今後もバラへの移行が考えられ下振れ要因となる。他の工事は順調に受注予定と聞いているが、来月以降の売り上げを注視していきたい。
		非鉄金属製品卸売業	→	→	↑	↓	↓	↓		→	↓	・銅、アルミ、亜鉛、鉄、その他原材料のすべてが高騰、燃料費、副資材費、そして人件費と原価にかかるすべてが上昇している中、価格転嫁しても高岡銅器業界が製造するものは必需品ではないため需要が減るだけ。同じ用途であれば、他産地の異素材の商品にスイッチしてしまう。現状、需要は劇的に減っており、一つは高岡銅器である必然性のある商品の開発、もう一つは高騰した価格でも価値を認めて購入してくれる市場と販路を模索している。 ・先月、東京の伝統工芸品のイベントで被災地支援枠でKITTE丸の内での販売体験イベントに参加した組合員がいた。今月は高岡とジェトロ富山との企画で、ニューヨークでの販売開拓事業に参加した組合員がいた。
小売業		鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→		→	↓	・売り上げが伸びず全体としては、依然として景気が悪く、悪化傾向である。
		食肉小売業	→	→	→	→	↓	→		→	↓	・特になし。
		野菜・果実小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・7月の卸売市場は、入荷数量が97%、kg単価が105%で売上が102%となった。 ・7月の組合員の取扱高は、昨年対比100%であった。4～7月累計で昨年対比96%。
		家庭用電気機器小売業	↓	↑	→	→	↓	→		→	↓	・特になし。
		自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
		ガソリンステーション	↓	↓	↑	↓	↓	↓		↓	↓	・組合員(SS)をめぐる状況は、カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減が見込まれることや大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、基本的に経営環境が厳しい。6月中旬に米国とイラン間で戦闘終結に向けた覚書署名があり、いったん原油価格の下落が見られたが、その後、両国の衝突が再燃し、原油価格は反転上昇、先行きに不透明感がつきまとう状況が続いている。他方、国内では7月28日に令和8年熊本地震が発生した。酷暑のなか車中泊でのエアコン使用のためガソリン需要が急増。一時期、深刻なガソリン供給不足が見られ、あらためてSSの社会インフラとしての重要性が認識される機会となっている。 ・県内では、引き続き需要の回復感が弱く、また利用者の物価高による節約志向もあってか、ガソリン販売量は減少が続いている。 ・販売価格は、イラン情勢の緊迫化を受けて3月中旬に急騰したものの、国による緊急的激変緩和措置(いわゆるガソリン補助金)により下落し、その後、落ち着いている。7月27日現在、6月29日との比較で1Lあたりレギュラーガソリンが0.7円、ハイオクガソリンが0.6円、軽油が0.9円、それぞれわずかながら上昇している。

		スポーツ用品 小 売 業	↘	↘	→	→	↘	↘		→	→	・特になし。
		ショッピング セ ン タ ー	↘	→	→	→	↘	→		→	↘	・物価高による消費者の節約志向が更に強まっており 買い控えが起きている。
		項目	売 上 高	在 庫 数 量	販 売 価 格	取 引 条 件	収 益 状 況	資 金 繰 り	設 備 操 業 度	雇 用 人 員	業 界 の 景 況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現 状等、企業経営・業界での問題点)
	業種											
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→	→		→	→	・熱中症アラートが発令される日々が続き、下旬の月末 は来街者が少なく感じられた。ブランド品を扱う洋服店 では、夏物セールが昨年より前倒しになり、又、来店者 から冬物を求められる等季節感が変わってきているよう だ。
	商 店 街	↘	→	→	→	↘	→	→		→	↘	・特になし。
サ ー ビ ス 業	情報サービス業	→			→	→	→	→		→	→	・特になし。
	クリーニング業	→			→	→	→	→		→	↘	・特になし。
	飲 食 業	→			↗	→	→	→		→	→	・週末の家族連れが多少少ない。米の価格が下がりあり がたい。
	建 築 設 計 業	→			→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自 動 車 整 備 業	→				→	→	→	→	→	→	・7月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自 動車の合計)は、前年並みである。 ・中東情勢の影響による、油脂製品(エンジンオイル、ブ レーキオイル、ギアオイル等)の供給の滞りは先月よりさ らに解消されつつあるが、自動車整備事業者は顧客 (対象の自動車)によっては未だにオイル交換の時期な どを伸ばすようお願いする状況は続いている。

建設業	鉄骨・鉄筋工事	→		↘	→	↘	↘	→	→	・仕事量については、各社ばらつきがあるが少ないファブが多く、見積もりも未だ少ない状態が続いている。塗料、シンナーは入手しやすくなったが、価格は上がったままである。鋼材も高止まりしており厳しい受注競争が懸念される。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→	→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→	↘	→	・高校新卒採用求人票を業界として、高校(8校)へ出向きお願いに回った。 ・現場での熱中症対策に会員がいろいろと取り組みながら安全対策に苦慮している。 ・給水装置工事主任技術者更新研修を7月23日45名の受講者にて実施。
	電気工事業	↗		↗	→	→	→	→	→	・民間設備投資、公共工事は順調に推移。住宅着工件数は昨年同月から増加も低調に推移。電線、エアコン部材等欠品により一部供給不足の状況が発生している。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	↘	→	→	↘	・前月同様燃料価格の高騰及び物量の減少により、収益・景況ともに減少とした。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→	→	→	・物量は前年同月比98.4%と前年より少し落ち込む。燃料価格は前年同月比+8.5円/Lと高めだった。

